



消防大学校だより

指揮シミュレーション訓練と連動した「街区火災対応訓練」の実施について

消防大学校の教育訓練のひとつに、「指揮シミュレーション訓練」があります。様々な活動上の障害がある災害現場で、出勤した隊員が安全に活動するための重要な任務を担う各級指揮者における現場指揮能力の向上は、消防大学校における教育では外すことの出来ない要素です。

消防大学校では、幹部科、上級幹部科、消防団長科などの総合教育を始め、警防科、救助科などの専科教育、また指揮隊長コースなどの実務講習において、各科・コースの特徴に応じた種別のシミュレーション訓練を実施して、現場指揮能力の向上を図り、受傷事故の未然発生防止について教育を行っています。

令和元年度からは、新たな取り組みとして専科教育警防科において本システムを活用して「街区火災対応訓練」を実施しています。強風下の飛び火で延焼拡大し、大きな街区にまで発展する街区火災は住宅密集の地域においてはいつでもどこで発生してもおかしくなく、そのような火災に対して冷静沈着に火災現場を統括し、被害の軽減を図ることは各消防本部に求められています。

この訓練は街区火災における消防戦術及び強風下における消防対策を習得するとともに、火災現場における消防体制の早期確立、指揮隊を中心とした組織的な消防活動及び現場管理等、最大の消防活動効果を挙げるために必要な現場指揮要領の習得を目的としています。

訓練の構成は、午前は本館4階のシミュレーション室において図上訓練を実施し、午後には屋外訓練場に設置している街区火災ユニットでの実動訓練と屋内訓練場に4画面モニターの移動可能な装置を配置してシミュレ-

ーション訓練を行うハイブリッド的な訓練としました。今年度は訓練の実施時間数をさらに増やして対応する予定としています。



シミュレーション室での図上訓練



屋内訓練場での指揮本部運営訓練



屋外訓練場での指揮本部運営訓練



屋内訓練場での消防本部運営訓練

本訓練を通じて、各学生は試行錯誤しながらも、最善の判断を行いながら、一致団結して訓練に取り組んでいました。訓練の各到達目標を達成し、現場指揮能力の向上が図られたものと確信しています。

今後も、各消防本部において工夫をこらしながら、所属での教育や部下育成として実践していただければ幸いです。



ユニットハウスを活用した実動訓練



訓練実施イメージ

問い合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712

● ■ 消防研修第108号（特集：土砂災害・風水害に対する教育訓練）の発行

消防大学校では、消防本部等における消防防災体制の強化のための知識・技術の向上に資するために、「消防研修」を昭和40年（1965年）10月に創刊、毎年2回発行し、各都道府県、消防学校、消防本部等に配布しています。

消防研修第108号では、「土砂災害・風水害に対する教育訓練」をテーマに特集しました。

大規模な土砂災害・風水害の発生が懸念されている中で、消防機関による救助活動に対する国民の期待度は大きく、また、その責任も益々重くなっています。これま

での災害における教訓を活かし、各地域における救助体制と広域応援体制の充実強化に向けた取り組みを一層推進することが重要です。

そこで今回の消防研修では、「土砂災害・風水害に対する教育訓練」を特集テーマとして、土砂災害における救助技術の高度化、土砂災害対応の現実と教育訓練の現状及び土砂災害訓練の取り組みなどを掲載いたしました。

消防研修最新号は、消防大学校ホームページにも掲載しています。

消防研修第108号（特集：土砂災害・風水害に対する教育訓練）の主な掲載内容

- 土砂災害における救助技術の高度化について
消防庁国民保護・防災部参事官付
救助係長 福島 毅
- 土砂災害対応の現実と教育訓練の現状
消防庁消防研究センター技術研究部
上席研究官 新井場 公德
- 災害救助訓練施設について
神奈川県くらし安全防災局防災部
消防保安課 設楽 夏樹
- 消防学校における、自然災害対応に係る教育訓練について
和歌山県消防学校教務主任 川島 康司
- 土砂災害対応訓練の取組について
大阪市消防局警防部警防課
- 土砂災害対策訓練について
兵庫県西宮市消防局警防課救助係
- 土砂災害・風水害における対応力強化について
岡山市消防局警防部警防課長 金本 憲昌
- 消防大学校新訓練場紹介 ～土砂災害対応訓練施設～
教務部救助科担当

問合わせ先

消防大学校調査研究部
TEL: 0422-46-1713